

海洋生命資源科学専攻 令和8年3月修了修士学位論文発表会プログラム

「主催：東京海洋大学大学院 海洋生命資源科学専攻」

開催日時：令和8年2月13日（金）9:00-17:30、2月16日（月）9:00-15:40、2月17日（火）9:00-17:20、2月18日（水）9:00-14:00

開催場所：品川キャンパス 2号館2階200-A室

令和8年2月13日（金）9:00-17:30

No.	時間	学生氏名	修士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員
1	9:00-9:20	佐野 光	定置網用魚群探知機に出現する非漁獲対象種に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 秋山 清二 副査 ○ ☆
2	9:20-9:40	篠宮 希	千葉県館山湾で採集された魚類の視覚機能に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 秋山 清二 副査 ○ ☆
3	9:40-10:00	小山 竜太朗	定置網の箱網模型による模擬混獲後のアオウミガメの心拍数に及ぼす水温の影響について	生物資源学	主査 ◎ 塩出 大輔 副査 ○ ☆
4	10:00-10:20	副嶋 康	東京湾における桁網とビームトロールの海底ごみ採集特性に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 塩出 大輔 副査 ○ ☆
5	10:20-10:40	本荘 仁雄	定置網用海亀脱出支援システムにおける天井網の傾斜と脱出口の閉鎖に与える流れの影響について	生物資源学	主査 ◎ 塩出 大輔 副査 ○ ☆
休憩 10:40~10:50					
6	10:50-11:10	大森 百華	ヌマエビ類の体型の性差・種間差および可塑性に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 濱崎 活幸 副査 ○ ☆
7	11:10-11:30	福田 真旺	潮間帯カニ類の温度耐性に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 濱崎 活幸 副査 ○ ☆
8	11:30-11:50	三浦 知佑	カニ類の対捕食者戦略に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 濱崎 活幸 副査 ○ ☆
9	11:50-12:10	見原 健太郎	沿岸性カニ類の環境適応に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 濱崎 活幸 副査 ○ ☆
昼休み 12:10~13:00					

10	13:00-13:20	今井 照陽	タコ類の生活史初期における行動・形態の発達と適正餌料に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ ☆
11	13:20-13:40	嬉野 佑斗	ヒヨウモンダコの飼育技術と摂餌生態に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ ☆
12	13:40-14:00	大類 敬介	タコ類の生活史初期における成長の可塑性に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ ☆
13	14:00-14:20	柵木 仁美	飼育条件がマダコ稚ダコの生残・成長と干渉行動に及ぼす影響に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ ☆
14	14:20-14:40	宮本 遥香	マダコ浮遊幼生の対捕食者戦略に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ ☆
15	14:40-15:00	望月 光平	マダコ種苗生産における最適な飼育環境と餌料に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ ☆
16	15:00-15:20	渡邊 我究	イイダコ稚ダコのカニ類に対する捕食能力とカニ類鉄脚の防御機能に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ ☆
休憩 15:20~15:30						
17	15:30-15:50	五味 柚伎	ペヘレイの生態解明に向けた耳石チェック構造に関する研究	生物資源学	主査	◎ ストルマン カルロス
					副査	○ ☆
18	15:50-16:10	白鳥 伶	中深層性魚類オオクチイワシ <i>Notoscopelus japonicus</i> におけるマイクロプラスチック汚染に関する研究	生物資源学	主査	◎ 横田 賢史
					副査	○ ☆
19	16:10-16:30	丸山 港太	Dynamic Energy Budget モデルによるキタムラサキウニ <i>Mesocentrotus nudus</i> の分布特性に関する研究	生物資源学	主査	◎ 横田 賢史
					副査	○ ☆
20	16:30-16:50	今井 騒日	雌雄異体魚における性転換の適応的意義： ギンイソイワシを用いた実証的研究	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ☆
21	16:50-17:10	佐藤 凌介	ギンイソイワシ <i>Hypoatherina tsurugae</i> のゲノム情報基盤の確立と活用	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ☆
22	17:10-17:30	直井 嘉樹	ペヘレイの遺伝型/温度依存型性決定機構におけるamh遺伝子の役割	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ☆

令和8年2月16日（月）9:00-15:40

No.	時間	学生氏名	修士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員	
23	9:00-9:20	西山 拓充	東京湾と相模湾及び宮崎沖から分離された新種の海洋細菌	海洋生物工学	主査	◎ 小林 武志
					副査	○ ☆
24	9:20-9:40	秋元 雄大	東京湾堆積物からのバイオサーファクタント産生細菌の分離と性状解析	海洋生物工学	主査	◎ 寺原 猛
					副査	○ ☆
25	9:40-10:00	新井 颯人	海底堆積物から分離した六価クロム還元放線菌の諸性状	海洋生物工学	主査	◎ 寺原 猛
					副査	○ ○ ☆
休憩 10:00～10:10						
26	10:10-10:30	伊坂 夏来	魚類不死化細胞株EPCにおけるtertおよびテロメラーゼ関連遺伝子の役割	海洋生物工学	主査	◎ 二見 邦彦
					副査	○ ☆
27	10:30-10:50	伊東 颯太	PMLボディを欠く魚類細胞株EPCにおけるヒトPML-IV依存性細胞老化誘導機構の解明	海洋生物工学	主査	◎ 二見 邦彦
					副査	○ ☆
28	10:50-11:10	白坂 麟	ミトコンドリア機能障害による魚類細胞株EPCの老化とマイトファジーによる若返り	海洋生物工学	主査	◎ 二見 邦彦
					副査	○ ☆
29	11:10-11:30	樋口 蒼門	魚類細胞株EPCにおける集団倍加時間を制御する分子機構の解析	海洋生物工学	主査	◎ 二見 邦彦
					副査	○ ☆
30	11:30-11:50	本間 淳之介	魚類細胞株EPCにおけるcdkn2ab遺伝子の機能と細胞増殖抑制機構の解析	海洋生物工学	主査	◎ 二見 邦彦
					副査	○ ☆
昼休み 11:50～13:00						

31	13:00-13:20	照屋 竜大	バナメイエビにおける紅色非硫黄細菌 <i>Rhodovulum</i> sp給餌とWSSV溶液浸漬による胃内細菌叢への影響の研究	海洋生物工学	主査	◎ 廣野 育生
					副査	○ ○ ☆
32	13:20-13:40	中野 陽南	伝染性筋肉壞死ウイルスのクルマエビ類の感受性に関する研究	海洋生物工学	主査	◎ 廣野 育生
					副査	○ ○ ☆
33	13:40-14:00	大久保 康平	ニジマス <i>Oncorhynchus mykiss</i> における抗ミオスタチン抗体誘導手法の検討とその影響評価	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ ☆
34	14:00-14:20	紺野 永真	ヒラメ <i>Paralichthys olivaceus</i> インターフェロンγ の発現誘導機構に関する研究	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ ☆
35	14:20-14:40	藤井 雄大	<i>Edwardsiella piscicida</i> に対する魚種間感受性差の自然免疫応答に基づく解析	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ ☆
36	14:40-15:00	宮田 陽太	ヒラメインターフェロンγ組換えタンパク質の応用に向けた基礎的研究	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ ☆
37	15:00-15:20	日下 博貴	クルマエビ科血球細胞の1細胞mRNA解析における固定法および解析プラットフォームの比較検討	海洋生物工学	主査	◎ 小祝 敬一郎
					副査	○ ☆
38	15:20-15:40	湯浅 壱	微小液滴技術を活用した魚病細菌に対する拮抗細菌の高効率スクリーニング法の開発	海洋生物工学	主査	◎ 小祝 敬一郎
					副査	○ ☆

令和8年2月17日（火）9:00-17:20

No.	時間	学生氏名	修士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員
39	9:00-9:20	鈴木 淳也	遺伝子導入技術を用いない魚類セルトリ細胞の濃縮技術の開発	水圏生物科学	主査 ◎ 吉崎 悟朗
					副査 ○ ☆
40	9:20-9:40	鬼沢 侑希	黄体形成ホルモン遺伝子導入ニジマスにおける精巣の組織学的解析	水圏生物科学	主査 ◎ 吉崎 悟朗
					副査 ○ ☆
41	9:40-10:00	金 ゴウン	マアジ代理親魚を用いた機能的なカイワリ精子の生産	水圏生物科学	主査 ◎ 吉崎 悟朗
					副査 ○ ☆
42	10:00-10:20	横川 葵	一回産卵型魚における片側卵巣摘出による卵の大型化の試み	水圏生物科学	主査 ◎ 吉崎 悟朗
					副査 ○ ☆
休憩 10:20~10:30					
43	10:30-10:50	小澤 佳奈	マサバ <i>Scomber Japonicus</i> における環境および生殖内分泌制御による早期初回成熟誘導法の開発	水圏生物科学	主査 ◎ 矢澤 良輔
					副査 ○ ☆
44	10:50-11:10	後藤 裕樹	クロマグロ代理親魚技法に用いる宿主としてのスマ×コシナガ雑種の特性解析	水圏生物科学	主査 ◎ 矢澤 良輔
					副査 ○ ☆
45	11:10-11:30	美浪 拓斗	コシナガ人工種苗生産技術の改良およびクロマグロ精原細胞移植用宿主としての利用	水圏生物科学	主査 ◎ 矢澤 良輔
					副査 ○ ○ ☆
46	11:30-11:50	原田 将登	不妊雑種を代理親としたアジ科養殖魚生産法の開発	水圏生物科学	主査 ◎ 森田 哲朗
					副査 ○ ○ ☆
昼休み 11:50~13:00					

47	13:00-13:20	大田 悠貴	合成香料の添加によるブリ用無魚粉無魚油飼料の摂餌誘因効果に関する基礎的研究	水圏生物科学	主査	◎ 芳賀 穣
					副査	○ ☆
48	13:20-13:40	川幡 悠斗	難利用性有機廃棄物で培養したアメリカミズアブ <i>Hermetia illucens</i> がマダイ <i>Pagrus major</i> の成長性および腸内細菌叢に及ぼす影響に関する基礎的研究	水圏生物科学	主査	◎ 芳賀 穣
					副査	○ ☆
49	13:40-14:00	塙田 翔	マダイ <i>Pagrus major</i> 用飼料原料としての高温・高圧処理大豆油粕の利用性に関する基礎的研究	水圏生物科学	主査	◎ 芳賀 穓
					副査	○ ☆
50	14:00-14:20	飯沼 藍	二枚貝類における $\omega_6$ 不飽和化酵素の有無と多価不飽和脂肪酸 $\delta^{13}\text{C}$ の関係性	水圏生物科学	主査	◎ 壁谷 尚樹
					副査	○ ☆
51	14:20-14:40	石崎 智大	2系統のアユ間におけるEPA・DHA代謝系の差異に関する研究	水圏生物科学	主査	◎ 壁谷 尚樹
					副査	○ ☆
52	14:40-15:00	新田 明日香	石垣島マングローブ域におけるセストンおよび主要動物の脂肪酸プロファイル解析	水圏生物科学	主査	◎ 壁谷 尚樹
					副査	○ ☆
53	15:00-15:20	藤村 純也	魚類におけるワックスエステル含有油脂の飼料原料としての可能性	水圏生物科学	主査	◎ 壁谷 尚樹
					副査	○ ☆
休憩 15:20~15:30						
54	15:30-15:50	花井 元哉	クルマエビ浮遊幼生の性特異的トランスクリプトーム解析による性決定関連遺伝子の同定	水圏生物科学	主査	◎ 坂本 崇
					副査	○ ☆
55	15:50-16:10	野口 智司	天然ヒラメの高水温飼育における性転換臨界サイズの推定に関する研究	水圏生物科学	主査	◎ 坂本 崇
					副査	○ ☆
56	16:10-16:30	白石 力	ヤイトハタ <i>Epinephelus malabaricus</i> とシーアスパラガス <i>Salicornia bigelovii</i> の塩水アクアポニックス構築に関する研究	水圏生物科学	主査	◎ 遠藤 雅人
					副査	○ ☆
57	16:30-16:50	鈴木 匠	閉鎖循環式養殖における環境制御がヤイトハタ <i>Epinephelus malabaricus</i> の成長と物質フローに与える影響に関する研究	水圏生物科学	主査	◎ 遠藤 雅人
					副査	○ ☆
休憩 16:50~17:00						
58	17:00-17:20	伊藤 維胤	Radiometric age determination of the pudgy cusk eel <i>Spectrunculus grandis</i> using lead-radium dating (鉛-ラジウム法を用いたソコボウズ <i>Spectrunculus grandis</i> の放射性年齢推定)	生物資源学	主査	◎ 藤原 義弘
					副査	○ ☆

令和8年2月18日（水）9:00-14:00

No.	時間	学生氏名	修士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員	
59	9:00-9:20	松下 桜子	遺伝資源収集に向けたオニアマノリを含む南方系野生ノリの遺伝的多様性と生長特性	水圏生物科学	主査	◎ 二羽 恭介
					副査	○ ☆
60	9:20-9:40	高橋 南帆	太平洋沿岸に生育するクロシオアマノリとその近縁野生種における遺伝的多様性	水圏生物科学	主査	◎ 二羽 恭介
					副査	○ ☆
61	9:40-10:00	三田 亮太郎	式根島に生育するクロシオアマノリとハイタンアマノリの種間交雑に関する研究	水圏生物科学	主査	◎ 二羽 恭介
					副査	○ ☆
62	10:00-10:20	仁科 陽人	日本産チシマクロノリの分類学的再検討 —2新種の発見と性タイプについて—	水圏生物科学	主査	◎ 二羽 恭介
					副査	○ ☆
休憩 10:20~10:30						
63	10:30-10:50	木内 裕介	親魚体腔液由来の伝染性造血器壊死症（IHN）ウイルスの特性解明	水圏生物科学	主査	◎ 佐野 元彦
					副査	○ ☆
64	10:50-11:10	佐々木 駿	Cyprinid herpesvirus 2 流行株に対する弱毒生ワクチンの防御効果	水圏生物科学	主査	◎ 佐野 元彦
					副査	○ ☆
65	11:10-11:30	後藤 瑛美	ギンブナにおけるCD4-1+/CD4-2+リンパ球の形態的性状および発現遺伝子の解析	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ ☆
66	11:30-11:50	坂本 百合	ニシキゴイ養殖池における抗酸菌症の感染源および発症要因の解明	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ ☆
休憩 11:50~13:00						
67	13:00-13:20	徳永 曜音	養殖ブリのノカルジア症に対する $\gamma$ 線照射不活化ワクチンの有効性	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ ☆
68	13:20-13:40	沼田 純作	性成熟によるニジマス鰓上皮抗原取込細胞の存在比率の減少	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ ☆
69	13:40-14:00	増永 麗未	鰓の单球・マクロファージによる浸漬ワクチン抗原のリンパ組織への輸送	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ ☆

2月17日(火) 修士論文発表会 1日目 2号館100A

受理審査委員(敬称略)

氏名	題目	主指導教員
9:00-9:20 荒木 典佳	チルド輸送される真空包装牛肉におけるBlown Pack Spoilageの原因菌に関する研究	高橋 肇
9:20-9:40 河野 由奈	水産加工食品由来の <i>Listeria monocytogenes</i> の防除に関する研究	高橋 肇
9:40-10:00 千田 奈津子	非加熱喫食水産加工品におけるE型ボツリヌス菌の食中毒リスクに関する研究	高橋 肇
10:00-10:20 矢崎 哲平	閉鎖循環式陸上養殖における好気的脱窒槽の微生物群集解析および菌株の分離と応用に関する研究	高橋 肇
10:20-10:40 米 泰佑	カットキャベツ中の細菌に対する黒酢の効果に関する研究	高橋 肇
10:40-11:00 岡本 七星	抗菌活性を有する沿岸環境由来乳酸菌による豆類および種実類の発酵特性	久田 孝
11:00-11:20 佐藤 瑞希	カジメ類およびアラメ類の次世代プレバイオティクス性	久田 孝
11:20-11:40 富田 幸路	パンガシウスの有効利用に関する研究	耿 婕婷
11:40-12:00 楊 辰旭	マグネシウムの添加が水産加工品に与える影響	耿 婕婷

昼休み

13:00-13:20 蔡 嘉烨	Predictive models for ohmic heating in heterogeneous multicomponent systems: Development of substitute model foods for experimental applications (不均一多成分系におけるジュール加熱の予測モデル:代替モデル食品の開発)	ラベイヴァン
13:20-13:40 城間 理沙	ステーキ調理過程の状態評価に向けた非接触近赤外線分光分析と力学物性評価	ラベイヴァン
13:40-14:00 杉原 ちひろ	誘電率混合方程式を適用したマイクロ波加熱シミュレーション — 調理済み米飯の再加熱を対象とした熱・反応速度解析 —	ラベイヴァン
14:00-14:20 渡邊 礼菜	牛ステーキの最適加熱制御に向けた調理解析と物質移動シミュレーションモデルの検討	ラベイヴァン
14:20-14:40 遠藤 玲音	国内の水産品コールドチェーンの経済規模とCO <sub>2</sub> 排出量	渡邊学
14:40-15:00 王 麟飛	Effects of Cyclic Temperature Variability and Air-Gap Thickness on Frost Formation during Frozen Storage of Packaged Food 「包装食品の冷凍貯蔵中の温度変動および空気層厚さが霜形成に与える影響」	渡邊学
15:00-15:20 近江 小道	凍結マグロを用いた真空マイクロ波解凍機の性能評価	渡邊学
15:20-15:40 岡村 璃穂	ブランチング処理が過冷却凍結したニンジンの品質に与える影響	渡邊学
15:40-16:00 加藤木 康大	フィーレ処理が死後硬直中の魚のインピーダンス変化に及ぼす影響	渡邊学
16:00-16:20 鈴木 桂太朗	凍結解凍魚肉のテクスチャーメトリック条件の最適化に機械学習を用いる試み	渡邊学
16:20-16:40 中村 結衣	ファインバブル処理が魚の鮮度保持に与える影響について	渡邊学
16:40-17:00 山田 侑依	組織観察による鮮魚の最適な凍結・解凍法の検討	渡邊学
17:00-17:20 長谷川 航平	不凍タンパク質添加が食品モデルゲルの凍結解凍ドリップの量に及ぼす影響とその機構の解明	萩原知明

(2月17日 22名)

## 2月18日(水) 修士論文発表会 2日目 2号館100A

受理審査委員(敬称略)

	氏名	題目	主指導教員
9:00-9:20	青木 舜真	ミルワームタンパクのアレルゲン性評価と食資源化に向けた検討	黒瀬 光一
9:20-9:40	大石 裕太郎	薬物代謝酵素による代謝活性化を考慮したin vitro皮膚感作性試験法の開発	黒瀬 光一
9:40-10:00	岡田 萌里	THP-1細胞におけるエンドトキシン誘導性遺伝子の同定と検出試験への応用	黒瀬 光一
10:00-10:20	鈴木 健斗	アルテミアに対し生理活性を有する放線菌二次代謝産物の探索および機能解析	小山 寛喜
10:20-10:40	増田 陸人	スルメイカ アスパラギン酸ラセマーゼの活性中心の構造解明	小山 寛喜
10:40-11:00	長谷川 盟	アニサキスアレルゲンAnis 7および未知高分子アレルゲンに関する研究	嶋倉 邦嘉
11:00-11:20	山内 佑輔	エビ類より見出された患者特異的なアレルゲンに関する研究	嶋倉 邦嘉
11:20-11:40	ジョイウ	海藻中のカロテノイド類の分析	小山 智之
11:40-12:00	刈-マク カイ	Anti-osteoporotic effects of cuttlebone powder on an ovariectomy-induced osteoporosis model in mice (マウスの卵巣摘出誘発性骨粗鬆症モデルにおけるイカ骨粉末の抗骨粗鬆症効果)	小山 智之
昼休み			
13:00-13:20	鈴木 絵理香	熟成前後の冷凍処理および氷点下熟成が魚肉品質におよぼす影響	高橋 希元
13:20-13:40	高松 千華	長期低温熟成によるタイセイヨウクロマグロ Thunnus thynnusの物性変化およびそのメカニズムの解明	高橋 希元
13:40-14:00	高角 楓	融点の異なる魚ゼラチン混合ゲルの構造とゲル化メカニズムの解明	松川 真吾
14:00-14:20	秋元 美南	熱酸化によって生じるリノール酸由来エポキシ脂肪酸の体内動態に関する研究	後藤 直宏
14:20-14:40	江本 葉	肝細胞におけるエポキシ脂肪酸による脂質代謝変化	後藤 直宏
14:40-15:00	大槻 隼也	HepG2細胞を用いたケルセチン抱合体の生理作用評価	後藤 直宏
15:00-15:20	鎌田 夏歌	安定同位体アラキドン酸の生体内動態の可視化	後藤 直宏
15:20-15:40	小嶋 里佳	乳脂肪中の光学活性ラクトン類の生成メカニズムに関する研究	後藤 直宏
15:40-16:00	境 さくら	脂肪酸ヒドロキシ脂肪酸エステルの合成法および分析法の構築	後藤 直宏
16:00-16:20	佐々木 映海	ドコサヘキサエン酸結合リン脂質異性体の脳局在部位の解明	後藤 直宏
16:20-16:40	平田 瑛美	食事性ドコサヘキサエン酸のリン脂質への取り込みと代謝経路の解明	後藤 直宏
16:40-17:00	松井 哲次郎	呼気中炭素安定同位体比測定による食品成分の体脂肪燃焼能特異的モニタリング法の構築	後藤 直宏
17:00-17:20	安田 有希	奇数鎖多価不飽和脂肪酸の合成および機能性評価	後藤 直宏

(2月18日 22名)

## 海洋資源環境学専攻 学位論文修士発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 海洋環境科学専攻分野・海洋生物学（化学）

開催日時：2026（令和8）年2月13日（金）

開催場所：講義棟・大講義室

開始時間	論文題目	氏名	主指導教員
09:00	集合・確認・諸注意		
09:05	クリガニ <i>Telmessus cheiragonus</i> の繁殖成功に関わる物質群「交尾栓」および「性フェロモン」に関する研究	安永 幸太	神尾道也
09:30	Studies on singnature mixture hypothesis in the helmet crab <i>Telmessus cheiragonus</i> (クリガニにおける個体の匂い：シグナチャー混合物仮説についての研究)	BRYNN YARBROUGH	神尾道也
10:55	カミクラゲ <i>Spirocodon saltatrix</i> が放出する化学防御物質の機能および生合成経路の研究	三浦 那々	神尾道也
11:20	海洋生物に由来する生物活性ポリペプチド類の性状	星 創太	永井宏史
11:45	海洋生物由来の新規化合物群に関する化学的研究	川邊 稔也	永井宏史
12:10	昼休憩1時間		
13:10	バイオセンサと機械学習を活用した魚の成長率と与えた餌の関連性の解明に関する研究	岡部 奈波	呉海云
13:35	魚類体表粘液中アルブミンの測定に向けた筆型非標識イムノセンサの基礎的研究	柴田 裕貴	呉海云
14:00	部位特異的変異法を用いたラミナラナーゼ <i>JaLam</i> の酵素学的性状解析	大石 くるみ	岡井公彦
14:25	<i>Stylophora pistillata</i> 由来抗菌ペプチドのリフォールディングと機能解析	原 エミリ	岡井公彦
14:50	地下水における微生物マット形成を防止する材料の探索	黒澤 泰河	石田真巳
15:15	海洋好冷菌 <i>Colwellia</i> sp. 44T由来のPHBH分解酵素の性質	鷹野 堅介	石田真巳
15:40	生分解性ポリマーPHBH分解細菌の西部北太平洋における鉛直分布と分解酵素の遺伝子解析	佐治 圭輔	石田真巳
16:05	ゼラチンをブレンドした生分解性プラスチックの海中分解性と分解微生物	吉田 つぐみ	石田真巳

※ 本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）

※ 一人当たりの持ち時間は25分間、発表20分、質疑応答4分、交代1分

※ ベルについて：15分経過で1鈴、20分経過で2鈴、25分経過で3鈴（タイムキーパーは各研究室で準備すること）

## 海洋資源環境学専攻 学位論文修士発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻海洋環境科学専攻分野海洋学系

開催日時：令和8年2月13日（金）

開催方法/場所：2号館100A

時間	論文題目	氏名	主指導教員	備考
13:00-13:20	<i>Halomonas</i> 属細菌の產生するバイオフィルムが海洋環境中のセメント系材料に及ぼす影響について	惟村 晴太郎	牧田 寛子	
13:20-13:40	長崎県男女群島沖における海底流体湧出現象検出の試み	伊坂 日向	山中 寿朗	
13:40-14:00	東京湾沿岸潮間帯における海水及び堆積物中の炭化水素組成に関する研究	小島 初花	山中 寿朗	
14:10-14:30	東京湾における酸性化の時空間変動とその要因	清川 佳音	川合 美千代	
14:30-14:50	ESI-MSを用いたポリ塩化アルミニウム凝集剤における溶存形態変動の解析	青島 広夢	高橋 美穂	
14:50-15:10	瀬戸内海における底質中のマイクロプラスチックの分布と性質に関する研究	鈴木 拓聖	荒川 久幸	
15:20-15:40	南大洋インド洋セクターにおける水塊と流れの分布構造に関する研究	赤嶺 寿奈	北出裕二郎	
15:40-16:00	ベーリング海峡通過流量：海水-海洋境界層における非地衡流成分の重要性	早川 晃平	島田 浩二	
16:00-16:20	表層海流速度データを用いた海洋ボーフォート循環のエクマンパンピング速度分布と構造決定メカニズムの解明	原田 倫	島田 浩二	海洋AI・データサイエンス学位プログラム学生

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※遠隔で実施する場合は、出席確認のため参加者1名につき一つの接続とする。

## 海洋資源環境学専攻 学位論文修士発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 海洋環境科学専攻分野・海洋生物学（生物）

開催日時：2026（令和8）年2月16日（月）

開催場所：講義棟・大講義室（一部ハイブリッド形式で実施予定）

時間	論文題目	氏名	主指導教員
09:25-09:30	集合・確認・諸注意		
09:30-09:50	南大洋インド洋区表層の動物プランクトンの群集構造	大路 紘裕	真壁 竜介
09:50-10:10	紅藻 <i>Colaconema</i> 属藻類の種内変異に関する形態学的研究	尾形 凜	神谷 充伸
10:10-10:30	紅藻カザシグサにみられる結晶の細胞生理学的研究	オノノジュ 里紗	神谷 充伸
10:30-10:50	淡水紅藻カワモズク類の季節消長に影響を及ぼす環境因子の特定	田中 優多	神谷 充伸
10:50-11:00	休憩		
11:00-11:20	南大洋インド洋セクターにおける中深層性魚類2種の仔稚魚期の食性	原田 崇希	茂木 正人
11:20-11:40	日本の太平洋岸における中・深層性魚類仔魚群集の空間的・季節的変動	大矢 彩音	茂木 正人
11:40-12:00	相模湾におけるアンドンクラゲ <i>Carybdea brevipedalia</i> の摂餌生態	梅澤 純音	石井 晴人
12:00-12:20	タコクラゲ <i>Mastigias albipunctata</i> ポリップの無性生殖に及ぼす水温および塩分の影響	金島 萌々	石井 晴人
12:20-12:40	シミコクラゲがミズクラゲポリップの摂餌に及ぼす影響	松浦 大貴	石井 晴人
12:40-13:40	休憩		
13:40-14:00	南方系コビレゴンドウ（マゴンドウ）を対象としたミトコンドリアDNAおよびSNPsによる集団遺伝学的研究	足立 佳穂	村瀬 弘人
14:00-14:20	ツチクジラ <i>Berardius bairdii</i> を対象とした特異的なmsDNAマーカーの開発および集団遺伝学的研究	近藤 昭仁	村瀬 弘人
14:20-14:40	自然標識写真を用いた八丈島周辺海域におけるザトウクジラの来遊個体数推定（2016-2024）	中村 郁哉	村瀬 弘人
14:40-15:00	飼育下にある鯨類の動物福祉評価に向けた問診票の検討	米田 茉央	村瀬 弘人
15:00-15:10	休憩		
15:10-15:30	コメツキガニ <i>Scopimera globosa</i> の選択性摂餌による微細マイクロプラスチックの取り込み実態	井上 友	今 孝悦
15:30-15:50	コメツキガニ <i>Scopimera globosa</i> の造巣活動による底質搅拌作用と微生物群集への影響評価	水上 泰輝	今 孝悦
15:50-16:10	ヤドカリ類における口器形態の機能と摂餌生態の関連性	岩井 美樹	土屋 光太郎
16:10-16:30	千葉県館山湾における浅海性ウミグモ類の分類学的研究（節足動物 鈎角類）	篠原 夏月	土屋 光太郎
16:30-16:50	館山湾砂浜汀線域における二枚貝類2種の分布生態	橋詰 維里	土屋 光太郎

※ 本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）

※ 一人当たりの持ち時間は20分間、発表15分、質疑応答5分

※ ベルについて：12分経過で1鈴、15分経過で2鈴、20分経過で3鈴（タイムキーパーは各研究室で準備すること）

## 海洋資源環境学専攻 学位論文修士発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 海洋資源エネルギー学専攻分野

開催日時：令和8年2月17日（火）9:00～17:00

開催方法/場所：品川キャンパス 1号館1階14講義室

時間	論文題目	氏名	主指導教員	備考
9:00-9:20	ダイナミック・ポジショニング・システムによる船舶の自動制御に関する研究	安本 擁司	戸田 勝善	
9:20-9:40	水中ビークル・マニピュレータシステムのためのビークル姿勢変化を抑制する最適マニピュレータ軌道計画	吉中 春平	戸田 勝善	
9:40-10:00	坑廃水中のマンガン除去における炭酸塩生成メカニズムの速度論的考察	加藤 聖也	淵田 茂司	
10:00-10:20	海底熱水鉱石に含まれるヒ素含有鉱物の同定およびその溶出特性の評価	川崎 麻未	淵田 茂司	
10:40-11:00	青森県深浦町沖におけるカマイルカ <i>Lagenorhynchus obliquidens</i> の受動的音響観測	弓野 光太	甘糟 和男	
11:00-11:20	サクラエビの姿勢角分布の音響推定とターゲットストレングスへの影響	富永 果枝	甘糟 和男	
11:20-11:40	サクラエビエコーの識別基準に関する研究	守川 航太	甘糟 和男	
11:40-12:00	自然状態におけるサバ類の単体エコー計測に関する研究	渡野 宙輝	甘糟 和男	
13:00-13:20	AIを応用した気中撮影による波浪下構造物の3次元形状復元	伊藤 飛鳥	岡安 章夫	
13:20-13:40	令和6年能登半島地震に伴う地盤隆起後の海浜変形応答に関する研究	初田 智哉	吳 連慧	
13:40-14:00	洋上風力発電所におけるCTVの実海域動搖計測と特性解析	三上 丈太郎	吳 連慧	
14:00-14:20	海底鉱物資源開発の経済性および揚鉱模型実験の実物再現性の評価	遠藤 美侑	野村 瞬	
14:20-14:40	展開式平板アンカーにおける羽根形状の展開挙動への影響評価	吉田 尚生	野村 瞬	
14:40-15:00	海底地盤条件が波浪作用下の緊張係留系の動的安定性に及ぼす影響	川島 風太	高橋 英紀	
15:20-15:40	合成開口レーダASNARO-2を用いた海上風推定アルゴリズムの精度向上	竹本 尚之	竹山 優子	
15:40-16:00	南鳥島近傍の反射法地震探査による浅部不均質構造	金子 琉	中東 和夫	
16:00-16:20	地震波干渉法データを用いたオントンジャワ海台の浅部三次元構造解析	重村 篤希	中東 和夫	
16:20-16:40	日本沿岸の漂着ごみの地域特性と流出源の推定	新屋敷 大	内田 圭一	
16:40-17:00	東京湾タチウオ曳縄漁における漁具深度推定の指標構築	西 遼太郎	宮本 佳則	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※一人当たりの持ち時間は20分間、発表15分、質疑応答5分。

※ベルについて：12分経過で1鈴、15分経過で2鈴、20分経過で3鈴。

## 海洋管理政策学専攻 修士学位論文発表会 プログラム

主催：海洋管理政策学専攻

開催日時：令和8年2月16日（月）

開催方法/場所：対面/品川キャンパス 講義棟3階32番教室

令和8年2月16日（月）

時間	論文題目	氏名	主指導教員	備考
09:00 - 09:25	日本海新潟沖におけるメタンガス湧出と地下構造の関係	小林 亮太郎	鶴我 佳代子	
09:25 - 09:50	Depletion法を用いたトンレサップ湖淡水魚資源量推定に関する統計的研究	長塚 美月	北門 利英	
09:50 - 10:15	種苗放流と環境要因がオホーツク海沿岸へのカラフトマス来遊量に与える影響	岩田 直幸	鈴木 直樹	
10:15 - 10:40	漁業者の主観的幸福度に関する研究	神林 勇輔	高橋 周	
10:40 - 11:05	ブルーカーボン創出プロジェクトの地域への影響と社会的インパクト評価による分析	藤村 凜	原田 幸子	
11:05 - 11:30	A study on the impact of socio-demographic variables on eco-label WTP, focusing on mediating parameters (社会・人口統計学的変数がエコラベルのWTPに与える影響に関する研究：媒介変数に焦点を当てて)	禹 環善	若松 美保子	
11:30 - 11:55	AISデータを用いた漁業の行動変容に影響を及ぼす要因の評価 —サンマ棒受網漁業を対象として—	岸本 将光	若松 美保子	
13:00 - 13:25	Consumer evaluations of ama restaurant: A comparative study of Japan, Korea, and Europe (海女レストランに対する消費者評価：日・韓・欧の比較の視点から)	藤本 弥夕	松井 隆宏	
13:25 - 13:50	漁村における地域ブランドの形成要因 —盈徳（ヨンドク）ズワイガニ通りを事例として	韓 丞賢	中原 尚知	
13:50 - 14:15	日本沿岸漁業の生産変動要因に関する分析	陸 得林	婁 小波	
14:15 - 14:40	島嶼地域における地魚の消費と域内流通の可能性に関する研究	前田 弦己	婁 小波	
14:40 - 15:05	From consumption to connection: The educational effects of video-based environmental learning on sustainable choices (消費からつながりへ：ビデオを用いた環境学習が持続可能な選択に与える教育的効果)	李 依然	佐々木 剛	
15:05 - 15:30	地方自治行政に着目したアニメツーリズム事例研究 —「スーパーカブ」（山梨県北杜市）—	大澤 勇介	小暮 修三	
15:30 - 15:55	日米「ゴジラ」映画シリーズの主人公たちにおける表象の変遷と比較	八木 健太	小暮 修三	
15:55 - 16:20	地域における子ガメの放流会の実施判断と合意形成の倫理 ～徳島県美波町を事例として～	明 澄緑葉	萩原 優騎	
16:20 - 16:45	選択不可能な状況への応答の倫理 — 妊娠の与格性から責任概念を再構築する	昆野 璃夏	萩原 優騎	
16:45 - 17:10	マリンスポーツツーリズム参加者の行動、参加動機と満足に関する研究 —沖縄と海南の比較—	侯 泉宇	千足 耕一	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※遠隔で実施する場合は、出席確認のため参加者1名につき一つの接続とする。

## 海洋システム工学専攻 学位論文発表会 プログラム

### 主催海洋システム工学専攻

開催日時:令和8年2月13日(金)～2月16日(月)

場所:越中島キャンパス 1号館2階121教室

#### 令和8年2月13日(金)

時間	論文題目	氏名	主査	備考
10:00-10:30	振動計測による舶用ディーゼル機関燃料噴射弁の状態監視手法に関する研究	山田真也	佐々木 秀次	
10:30-11:00	マトリックスコンバータを応用した電気自動車向け車載充放電器の単相交流電力脈動補償制御法	石井亮	米田昇平	
11:00-11:30	古生物模倣型水中ロボットの開発	石川采燈	清水悦郎	
11:30-12:00	都市河川における水路図作成のための技術検証	田川康	清水悦郎	
12:00-12:30	空撮画像を用いた船舶動静認識手法の開発	鹿園大智	清水悦郎	

13:30-14:00	4眼カメラとAprilTagを用いた水中ロボットの3次元位置・角度計測システムの研究	藤森累花	田原淳一郎	
14:00-14:30	水素吸蔵合金キャニスターの流量排出モデルの構築と流量制御	天野響	小池雅和	
14:30-15:00	数値シミュレーションにおけるPINNs（物理情報に基づくニューラルネットワーク）の有効性の検討	黒瀬諒	吉岡諭	
15:00-15:30	k-分布法による気体吸収計算の最適化設定に関する研究	齋藤桃佳	関口美保	
15:45-16:15	液相分離型三次電池の試作と特性評価	繩野稜	柴田恭幸	
16:15-16:45	銅プルシャンブルー類似体の酸化還元電位の温度係数に対するゲストイオン置換効果	中江裕暉	柴田恭幸	
16:45-17:15	唾液中メラトニンバイオセンサの開発及び電流制御による最適化	大屋雛子	大貫 等	
17:15-17:45	酸化カーボンナノチューブろ紙電極による唾液用コルチゾールバイオセンサの開発	松本歩樹	大貫等	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する(学外にてその内容を明かすことのないようにすること)。

## 海洋システム工学専攻 学位論文発表会 プログラム

### 主催海洋システム工学専攻

開催日時:令和8年2月13日(金)～2月16日(月)

場所:越中島キャンパス 1号館2階121教室

### 令和8年2月16日(月)

時間	論文題目	氏名	主査	備考
8:30-9:00	銅製ハイフィン熱交換器の性能評価	神山将太郎	井上順広	
9:00-9:30	3次元微細溝付管外におけるR1234ze(E)のプール沸騰および流下液膜蒸発熱伝達に関する実験的研究	山元湧太	井上順広	
9:30-10:00	水平細径管内における冷媒R1234yf/冷凍機油の沸騰熱伝達に関する実験的研究	矢野智大	地下大輔	
10:15-10:45	超微小プローブ液滴による固体表面の濡れ性評価 ～表面自由エネルギー推定への応用～	黒木瞭	田中健太郎	
10:45-11:15	液滴の表面張力振動によばす非ニュートン性の影響	新田怜司	田中健太郎	
11:15-11:45	亜鉛被覆処理援用による摩擦改質層を有するステンレス鋼の耐食性とフレッチング摩擦特性	瀧ヶ崎遼	藤野俊和	
11:45-12:15	建設用作業機械伸縮機構のグリースレス化に向けた樹脂しゅう動材とコーティング膜を有する高張力鋼材のトライボロジー特性評価	藤内貴大	地引達弘	
13:30-14:00	液体架橋の形成・破断過程における付着力と濡れ面形状の変化	五十嵐晴紀	田中健太郎	
14:00-14:30	海底熱水噴流へのUVP法適用に向けた流量推定手法に関する基礎研究	上野智視	井原智則	
14:30-15:00	純水素燃料電池船の実用化に向けた船内機器配置と運航形態に関する基礎検討	松丸枝里香	井原智則	
15:00-15:30	熱流計測式付着物厚さ予測手法の海底資源配管への適用に向けた実験研究	大立目駿	波津久達也	
15:45-16:15	低温高压水素ガス環境下におけるSUS316Lの引張特性	武田巽	盛田元彰	
16:15-16:45	高酸素固溶チタンにおけるCyclic疲労とDwell疲労下の変形	原祥吾	盛田元彰	
16:45-17:15	弱アルカリ性の地熱模擬水条件下でのスケール形成に及ぼすポリアクリル酸の影響	池本翔太	盛田元彰	
17:15-17:45	X線回折法による粘土鉱物・非晶質相含有スケールの定量分析 -PONKCS/Rietveld法の適用-	板倉陽輝	盛田元彰	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する(学外にてその内容を明かすことのないようにすること)。

## 海運ロジスティクス専攻 学位論文公開発表会 プログラム

主催：海運ロジスティクス専攻

開催日時：令和8年2月9日（月）、令和8年2月10日（火）

開催方法/場所：対面式 越中島キャンパス1号館1階 115教室（予定）

令和8年2月9日（月）

時間	論文題目	氏名	審査委員	備考
10:00～10:30	ドライバーの働き方と労働・運転時間制約を考慮した中継拠点の配置に関する研究	継田 佳穂	主査：黒川 久幸 副査： 副査：	
10:30～11:00	商品の出荷頻度を考慮した動管と補管の区分けに関する研究	野崎 康誠	主査：黒川 久幸 副査： 副査：	
11:00～11:30	建物内における自律走行型配送ロボットの移動時間とエレベーター運用の関係	松山 瑞恵	主査：渡部 大輔 副査： 副査：	
11:30～12:00	Economic and environmental optimization of LNG adoption for urban freight distribution in Dakar (ダカールにおける都市貨物配送向けLNG導入の経済的・環境的最適化)	MALE MARIEME	主査：渡部 大輔 副査： 副査：	
13:00～13:30	舵の自由表面影響の解析に対する粒子法の適用性に関する研究	上村 侑茉	主査：増田 光弘 副査： 副査：	
13:30～14:00	ARと三次元重心検知理論融合による自覚不能リスクの学習に関する研究	高木 大地	主査：渡邊 豊 副査： 副査：	
14:00～14:30	三次元重心検知理論に基づくトレーラー横転事故原因分析	宮崎 弘也	主査：渡邊 豊 副査： 副査：	
14:30～15:00	Simulation-based evaluation of the impact of Logistics as a Service on urban e-commerce deliveries (Logistics as a Serviceが都市圏のEC配送に与える影響のシミュレーションによる評価)	小寺 涼太	主査：坂井 孝典 副査： 副査：	
15:00～15:30	GPSデータを用いた貨物車経路選択モデルの開発と配分シミュレーションへの実装	榎木 佑未	主査：坂井 孝典 副査： 副査：	
15:30～16:00	都市圏における中継物流施設の立地が交通需要に与える影響に関する分析	平林 佑基	主査：坂井 孝典 副査： 副査：	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※遠隔開催の場合、出席確認のため参加者1名につき一つの接続とする。

## 海運ロジスティクス専攻 学位論文公開発表会 プログラム

主催：海運ロジスティクス専攻

開催日時：令和8年2月9日（月）、令和8年2月10日（火）

開催方法/場所：対面式 越中島キャンパス1号館1階 115教室

令和8年2月10日（火）

時間	論文題目	氏名	審査委員	備考
10:30～11:00	SMALモデルに基づく時系列・構造一貫性を持つ三次元動物姿勢推定手法の開発	松浦 隼人	主査：竹縄 知之 副査： 副査：	
11:00～11:30	Unreal Engine環境をPythonで制御する強化学習システムの構築	松田 虎太郎	主査：竹縄 知之 副査： 副査：	
11:30～12:00	荷役順序制約を考慮したトラック荷台への同型荷物の2列配置	中森 彩斗	主査：橋本 英樹 副査： 副査：	
13:00～13:30	Depthカメラを用いた船舶ロボットの着棧制御	湊 楽	主査：岡崎 忠胤 副査： 副査：	
13:30～14:00	北太平洋亜熱帯モード水海域における冬季海面水温偏差再出現現象	阪下 博規	主査：小橋 史明 副査： 副査：	
14:00～14:30	高性能マイクロ波放射計AMSR2の観測に基づく海面水温プロダクトの相互比較	渡辺 鎮二	主査：小橋 史明 副査： 副査：	
14:30～15:00	遠隔操船システム用GUIの開発と評価について	張 志玉	主査：古谷 雅理 副査： 副査：	
15:00～15:30	音波遮蔽物付近で運用されるAUVの音響通信システムの開発	田中 龍平	主査：近藤 逸人 副査： 副査：	
15:30～16:00	ソフトウェアGNSS受信機の利活用に関する研究	後藤 啓輔	主査：久保 信明 副査： 副査：	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※遠隔開催の場合、出席確認のため参加者1名につき一つの接続とする。

食品流通安全管理専攻 2025年度3月期 学位論文公開発表会 プログラム

主催：食品流通安全管理専攻  
開催日時：令和8年2月7日（土）  
開催方法/遠隔（Microsoft teams）にて実施

発表者及び審査委員以外の参加者は、「2月2日までに 永井幸枝准教授(yag001@kaiyodai.ac.jp)まで連絡すること」事前申し込みをされた方に会議情報を連絡します。

時間	学籍番号 学生氏名	論文題目	専攻分野	論文審査委員会委員	
10:00～10:30	石田 悠	耐塩性糸状菌 <i>Pestalotiopsis</i> sp. AN-7を用いたマイクロプラスチックの劣化に関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ ☆
10:35～11:05	海野 友美	麹菌 <i>Aspergillus oryzae</i> No. 6153を用いたReactive Red 120の脱色および脱色処理前後の毒性評価	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ ☆
11:10～11:40	新屋 沙羅	乳酸菌 <i>Lacticaseibacillus zae</i> 001を用いたヒダカコンブ発酵物の血圧上昇抑制作用に関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ ☆
11:45～12:15	尾田 巴奈	麹菌 <i>Aspergillus oryzae</i> No. 6003を用いた固体発酵ヒダカコンブの血圧上昇抑制作用に関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ ☆
12:15～13:00		昼休み			
13:00～13:30	鈴木 花菜	分光分析と機械学習による乾燥昆布の品種・産地識別	食品流通安全管理学	主査	◎ 松本 隆志
				副査	○ ☆
13:35～14:05	伊藤 尚利	ナイルティラピア <i>Oreochromis niloticus</i> における5' -nucleotidaseに関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ ☆
14:10～14:40	山下 誠矢	パルプアルブミンの耐熱性評価のためのサーマルシフトアッセイの検討	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ ☆
14:45～15:15	伊東 倭	魚類主要アレルゲン（パルプアルブミン）の耐熱性に影響するアミノ酸残基間相互作用の推定	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ ☆
15:20～15:50	松本 陽	麹菌 <i>Aspergillus oryzae</i> No. 6003を用いたワカメ茎の発酵によるたんぱく質生産	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ ☆
15:50～16:00		休憩			
16:00～16:30	飯塚 光留	FCP食品安全文化ツールを用いた実証研究—食品製造事業者2社を対象として—	食品流通安全管理学	主査	◎ 小川 美香子
				副査	○ ☆
16:30～17:00	宮原 啓介	家庭におけるふきん使用と拭き取り行動の衛生的評価	食品流通安全管理学	主査	◎ 小川 美香子
				副査	○ ☆